

今年度の在宅医療・介護連携の取り組み

鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会事務局

町民公開講座(内容:人生会議【アドバンス・ケア・プランニング】)(6月2日)

将来の意思決定能力の低下に備えて、今後の治療・ケア等の意向などを、患者本人・家族・医療専門職等があらかじめ話し合う「人生会議」について、会話ドラマ形式で、町民公開講座を行いました。

人生会議では、病状などにより自身の考えや気持ちを伝えられなくなったときに、「どのような医療やケアを受けるか」「どこで医療やケアを受けるか」などについて、医療・ケアチームを含めて話し合います。

厚生労働省も人生会議のロゴを作成し、普及啓発を行っています。



SOSネットワークを用いた行方不明者搜索の模擬訓練の実施(10月29日)

認知症の方への声のかけ方

★徘徊している認知症のある方に声をかけるとき気を付ける点

- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない

ゆっくり、優しく、笑顔で相手のペースに合わせて接しましょう!

【例】

「こんにちは、今日は良い天気ですね」
「私は近くの〇〇です」など優しく話しかけ、一緒に歩く、
また、「少し休んでいきませんか?」と腰をかけて、休んでいるとき相手の名前を聞いてみる。(旧姓の場合もある)

上図: 当日資料より一部抜粋

昨年度に引き続き、高齢者等見守りSOSネットワーク事業の訓練を実施しました。メール配信システム「SOSネットワークメール」は、認知症の高齢者が行方不明になった際に早期発見ができるよう、登録者に行方不明の情報をメールで配信するシステムです。

メールを受信し搜索活動を開始するところから、行方不明者が発見されて発見メールを受信するまでの一連の流れを通して、反省点等を話し合い、改善策を検討しました。

保健福祉課では、行方不明になる可能性がある方の事前登録を随時受け付けています。また、このシステムからメールを受け取る方の登録も同様に受け付けています。

その他の活動

- 岡山県地域包括ケアシステム学会学術大会での発表
- 多職種交流会の開催
- 認知症事例検討会の開催
- 医療・介護・福祉事業経営者会議(オーナーズ会議)の開催
- 町議会議員との意見交換会の開催

現在の医療ニーズは、病気と共存しながら、生活の質(QOL)の維持・向上を図っていく必要性が高まっています。また、介護ニーズを併せ持つ重度の要介護者が増加するなど、医療及び介護の連携の必要性はこれまで以上に高まっています。

給付と負担のバランスを図り両制度の持続可能性を確保しながら、ニーズに合ったサービスが切れ目なく、かつ、効率的に提供される体制を構築していくことが求められています。

在宅医療・介護連携に関することをテーマとして掲載させていただいた「コラムでスタディ」ですが、今月号をもって毎月の掲載を終了いたします。今後は当協議会から各種の周知を行う月に合わせて掲載するよう考えています。長期にわたりご覧いただきありがとうございました。

■お問い合わせ先

鏡野町保健福祉課 介護保険係 担当:和田 電話(0868)54-2986 FAX(0868)54-2891